

しらかわしとよち  
東北自動車道 白河市豊地にスマートIC

～ 福島県内で4箇所目、ETC専用仮出入口の社会実験実施決定 ～

本日、国土交通省より、東北自動車道 白河市豊地地内において本線に接続するスマートIC社会実験の採択が通知され、福島県内では4箇所目の社会実験の実施が決定しました。

今後は、関係機関からなる「白河中央スマートIC社会実験協議会（仮称）」を設立し、工事に着手するなど、すみやかに実験が開始できるよう準備を進めます。

福島県内では、東北自動車道の福島松川スマートIC（本格導入済み）、磐越自動車道の新鶴スマートIC（本格導入済み）、東北自動車道の鏡石スマートIC（9月14日から実験中）に次いで4箇所目の社会実験となります。

なお、実験開始月日等が決定次第、あらためてお知らせします。

【社会実験の概要】

目的 社会実験を通じて、スマートICを設置することによる効果および整備・運営上の課題を事前に把握するとともに本格導入に向けて、地域住民の利便性向上、産業経済の活性化、交流の促進等の効果について把握することを目的として実施します。

実験箇所 東北自動車道 福島県白河市豊地 地内  
白河ICから6.4km 矢吹ICから10.2km

利用方向 東京方面、仙台方面への出入り（全方向）

利用時間 24時間

対象車種 ETC利用可能な12m以下の全車種（二輪自動車含む）  
ただし、けん引車を除く

【問い合わせ先】

白河中央スマートIC社会実験準備会

白河市 建設部 部長 岡部 文雄 電話 0248-22-1111

福島県 土木部 高速道路グループ 参事 佐久間 賢一 電話 024-521-7885

国土交通省 郡山国道事務所 調査課 課長 鈴木 恵吉 電話 024-946-8164

位置図

